

取 扱 注 意

平成29年3月

当直令状事務マニュアル

名古屋地方裁判所岡崎支部刑事訟廷事務室

1 はじめに（重要）

当直における令状作成・点検事務の基本的な処理については、名古屋地裁及び名古屋簡裁作成の「令状事務処理の手引（四訂版）」を参照する。従って、事務処理に当たっては、手引（四訂版）に総論として記載されている各種令状に共通した確認すべき点、個別の令状ごとに確認すべき点及び参考事項を参照するとともに、点検事務では、必ず手引（四訂版）で示されている当直用チェック票及びその別紙により確認を行う。

また、令状事務処理の手引（四訂版）が改訂された場合は、当然に本当直令状事務マニュアルにも及ぶので注意されたい。

2 令状事務処理の一般的な留意事項

「令状事務処理の手引（四訂版）」の4頁以降に令状事務の本質、事務担当者の役割分担の明確化、書記官の基本的役割、令状過誤の防止、被疑事件の罪名にかかる関係条文の確認、秘密の保持及びマスコミ対応に触れた記載があるので、必ず一読していただきたい。

令状請求書や一件記録等は、捜査の密行性及び被疑者の人権擁護の観点から、部外者の目に触れないよう注意を払い、部外者がいるときは、被疑者の氏名や事件の内容に触れる話題は慎むまねばならない。

マスコミ対応としては、

3 令状受理までの事前準備

令状作成事務は、即時処理を原則とする。

警察署から令状請求の事前連絡があったときは、請求官署名、令状の種類、通数、緊急性の有無（身柄の状況等）、緊急逮捕等の場合には逮捕時刻、令状請求書の到着予定時刻など、その後の令状作成準備に有益な情報を聴取する。

令状請求がなされたときは、速やかに処理に当たれるように、パソコン、支援システム又は令状用紙等を準備しておくが良い。

令状当番裁判官には、適時に連絡し、その後の指示を得る。

4 受付事務

「令状事務処理の手引（四訂版）」を参照する。

(1) 令状請求書の提出

- ア 逮捕状については、その謄本を同時に提出することを要する（刑規 139②）。
- イ それ以外の請求についても原本ごとに謄本 1 通を請求時に提出してもらうこと、差し押さえるべき物、搜索すべき場所等の記載を引用する別紙についても提出してもらうことについては、いずれも管内警察署に依頼済みであるため、適式に提出されているかを確認する。

(2) 令状請求書の宛名

- ア 令状請求書の宛名として空欄部分に、「岡崎簡易」とゴム印を押捺する。
- イ 当庁の当直事務においては、すべての裁判官に簡裁併任辞令があるため、岡崎簡易裁判所の裁判官として処理をする。ただし、簡裁辞令が発令されていない新任判事補が担当する場合は、「名古屋地方裁判所岡崎支部裁判官」として処理することになるため注意を要する。その場合には、当直業務に支障がないように予め周知を図る。

(3) 当直受付日付印

- ア 令状請求書の原本と謄本に当直受付日付印を押捺し、受付時刻を記入する。
- イ 当直受付日付印の傍らに事件番号用のゴム印を押捺し、符号欄に「令る」の事件符号を、番号欄に立件取得した事件番号をそれぞれ記入する。
- ウ 当直受付日付印及び事件番号用ゴム印の傍らに取扱者が認印を押印する。
- エ 当直受付日付印の押捺は、原則として請求書の上部余白部分に押捺するが、文字が重なって不鮮明にならないようにするため、必要に応じてその周辺の

余白部分に押捺するなどの注意を払う。

5 令状点検事務

「令状事務処理の手引（四訂版）」及び「平成 29 年 2 月 28 日付事務連絡」を参照する。

(1) 当直用チェック票及びその別紙は、令状種別ごとに当直室に備え置き、簡裁令状係が管理する。

(2) 適正な令状を発付するために当直用チェック票及びその別紙で示された点検項目について一つずつ確認する。

ア 被疑者の人定事項は、身分関係書類のどれか一つと照合する。

イ 被疑事実の要旨は、統括捜査報告書（訂正書類を含む）と照合する。

ウ 令状完成前の点検については一字一句の点検を励行し、令状完成後の点検については点検事項のポイントを絞って確認する。

エ 事務処理後の当直用チェック票及びその別紙は、令状請求書謄本の末尾にステープラで編綴し、直近の開庁日に簡裁令状係に引き継ぐ。

オ 限られた時間における作業であること、過誤の原因となり得る先入観をできる限り排除する必要があることから、点検作業における当直員間の分担例（「当直における令状点検の分担について」）を参考に適切な役割分担の上作業する。

6 期限切れ令状の返還

令状の再請求（期限内に執行することができなかったため、更に同一被疑事実で令状を請求する場合をいい、通称「令状更新」という）の場合は、返還すべき令状を発付した裁判所に返還する。例えば、岡崎簡裁で発付した令状であれば、そのまま受領して返還書に当直受付日付印を押捺し、その傍らに取扱者が押印すれば良いが、安城簡裁で発付した令状を返還する場合は、安城簡裁に返還しても

らう必要がある。

7 令状請求を却下又は撤回した場合

「令状事務処理の手引（四訂版）」を参照する。

令状作成事務のために予め作成した令状原稿や書損書類は、必ず破棄する。

8 令状発付後の処理

「平成 29 年 2 月 28 日付事務連絡」を参照する。

(1) 決裁後の点検項目

被疑者名，日付，庁名，庁印，裁判官氏名，裁判官印，契印，訂正印

(2) 警察官への交付時の点検項目

庁印，裁判官印，契印，訂正印

9 その他

令状作成事務に当たって有益な情報（文書）は，本ファイルに編綴されているので，必ず参照していただきたい。

以 上

①当直用チェック票(通常逮捕状)

★の項目は別紙参照

決
裁
前
決
裁
後

3 逮捕状請求書各葉との裁判官契印、訂正印はあるか。★

8

☐

逮 捕 状 (通常)	
被 疑 者 の 氏 名	1 表記文字は正しいか。★ ○ ○ ○ ○
被 疑 者 の 年 齢 住 居 , 職 業 罪 名 被 疑 事 実 の 要 旨 被 疑 者 を 引 致 す べ き 場 所 請 求 者 の 官 公 職 氏 名	
有 効 期 間	平成○○年○○月○○日 まで 2 期間計算は正しいか ★
<p>有効期間経過後は、この令状により逮捕に着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。</p> <p>有効期間内であっても、逮捕の必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。</p>	
<p>上記の被疑事実により、被疑者を逮捕することを許可する。</p> <p>3 今日の日付は正しいか。 平成○○年○○月○○日</p> <p>4 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 (庁名) 名古屋○○裁判所</p> <p>5 裁判官の記名印は正しいか。</p> <p>6 庁印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。</p> <p>7 裁判官の押印はあるか。</p>	
逮捕者の官公職氏名印	(点検者印)
逮 捕 の 年 月 日 時 及 び 場 所	平成 年 月 日 午前 午後 時 分 で逮捕
引 致 の 年 月 日 時	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
記 名 押 印	※交付時6.7.8を警察官と指差し点検
送致する手続をした年 月 日 時	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
記 名 押 印	(点検者印)
送致を受けた年月日時	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
記 名 押 印	

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

②当直用チェック票(緊急逮捕状請求書)

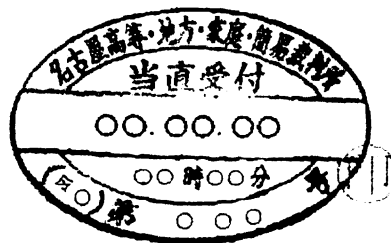
★の項目は別紙参照

受付時 1 ☐ 2 ☐
 決裁前 1 ☐ 2 ☐
 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐

- 1 受付日付は正しいか。
 2 庁別は選択したか。★

原本、謄本に

- ・3 時刻は記入したか。★
 ・4 事件番号、事件符号は記入したか。★
 ・5 担当者は押印したか。
 ・6 原本、謄本は照合したか。★



逮捕状請求書(乙)

7 作成日付は正しいか。
 平成 年 月 日

- 8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

裁判所
 裁判官 殿

司法警察部

- 9 請求者の記名、押印があるか。★

下記被疑者に対し、被疑事件につき、逮捕状の発付を請求する。

- 10 罪名は被疑事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。★
 記

1 被疑者

氏 名
 年 齢
 職 業
 住 居

- 11 身柄関係書類等のどれか一つと
 確認したか。★

- 12 年齢計算に誤りはないか。★

2 逮捕の年月日時及び場所

- 13 記載は必須
 逮捕の場所の記載もあるか。★

3 引致の年月日時及び場所

- 14 引致の場所の記載もあるか。★

4 逮捕者の官公職氏名

警察官



- 15 逮捕者の押印はあるか。

5 引致すべき官公署又はその他の場所

- 16 引致後の請求のときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

6 被疑者が罪を犯したことを疑うに足りる充分な理由

- 17 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

7 急速を要し裁判官の逮捕状を求めることができなかつた理由及び被疑者の逮捕を必要とする事由

- 18 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

8 被疑者に対し、同一の犯罪事実又は現に捜査中である他の犯罪事実について、前に逮捕状の請求又はその発付があつたときは、その旨及びその犯罪事実並びに同一の犯罪事実につき更に逮捕状を請求する理由

- 19 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
 (記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

9 被疑事実の要旨

- 20 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

(緊急逮捕状請求書)

※点検者が押印又は署名をする。

(点検者印)

②当直用チェック票(緊急逮捕状)

★の項目は別紙参照

決
裁
前
決
裁
後

9 逮捕状請求書各葉との裁判官契印、訂正印はあるか。 9

逮 捕 状 (緊急)

1 表記文字は正しいか。★

1 ☐ ☐

被 疑 者 の 氏 名

○ ○ ○ ○

被 疑 者 の 年 齢
住 居 , 職 業
逮捕したことを認めた罪名
被 疑 事 実 の 要 旨
請求者の官公職氏名
逮捕者の官公職氏名
逮捕の年月日時及び場所

前紙逮捕状請求書のとおり

上記の被疑事実により、被疑者を逮捕したことを認める。

2 今日の日付は正しいか。

平成○○年○○月○○日

3 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。

(庁名) 名古屋○○裁判所

裁 判 官

印

7 庁印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。

2 ☐ ☐

7 ☐ ☐

3 ☐ ☐

4 裁判官の記名印は正しいか。

8 裁判官の押印はあるか。

4 ☐ ☐

8 ☐ ☐

引 致 の 年 月 日 時
及 び 場 所

5 請求書からの転記は正しいか。(逮捕日時を記載しないこと。)
平成 年 月 日 午 時 分

6 請求書からの転記は正しいか。(逮捕場所を記載しないこと。)

愛知県○○警察署 に引致

送致する手続をした
年 月 日 時

平 成 年 月 日 午前 午後 時 分

記 名 押 印

送致を受けた年月日時

平 成 年 月 日 午前 午後 時 分

記 名 押 印

☐ ☐
(点検者印)

※点検者が
押印又は署名
をする。

※交付時7.8.
9を警察官と
指差し点検

☐

注 引致前に逮捕状が請求された場合には、①「引致すべき場所」欄を設けてこれを記載し、(点検者印)

②「引致の年月日時及び場所」欄を「引致の年月日時」と訂正し、③同欄の「に引致」を削除する。★

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留める。

③当直用チェック票(搜索差押許可状請求書)

(リモートアクセスによる複写の処分以外の請求に用いること)

★の項目は別紙参照

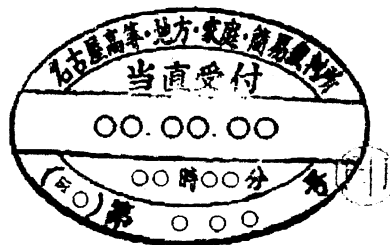
受付時
1 ☐ ☐
2 ☐ ☐

3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

- 1 受付日付は正しいか。
- 2 庁別は選択したか。★

原本、謄本に

- ・3 時刻は記入したか。
- ・4 事件番号、事件符号は記入したか。★
- ・5 担当者は押印したか。
- ・6 原本、謄本は照合したか。★



搜索 許可状請求書 差押

7 請求日付は正しいか。
平成 年 月 日

7 ☐ ☐
8 ☐ ☐

8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

裁判所
裁判官 殿

警視庁 警務部
捜査第一課



下記被疑者に対する被疑事件につき、搜索差押許可状の発付を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。★
記

9 ☐ ☐

1 被疑者の氏名

- 10 身柄関係書類等があればどれか一つと確認する。★
- 11 年齢計算に誤りはないか。★

10 ☐ ☐
11 ☐ ☐

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

2 差し押さえるべき物

12 記載は必須(引用された別紙はあるか)。

12 ☐ ☐

3 搜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

13 記載は必須(引用された別紙はあるか)。

13 ☐ ☐

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

14 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

14 ☐ ☐

5 刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

15 斜線を引き押印又は「なし」と記載する。請求書に本項自体の記載がないこともある(そのときは、6項、7項が順次5項、6項に繰り上がる。)

15 ☐ ☐

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

16 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

16 ☐ ☐

7 犯罪事実の要旨

17 記載は必須(引用された別紙はあるか)★
(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

17 ☐ ☐

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

(搜索差押許可状請求書)

(点検者印)

※点検者が押印又は署名をする。

③当直用チェック票(捜索差押許可状)
(リモートアクセスによる複写の処分以外の請求に用いること)

★の項目は別紙参照

決 裁
前 後

14 引用された別紙各条との裁判官契印、訂正印はある 14 ☐

捜 索 差 押 許 可 状

被 疑 者 の 氏 名	1 表記文字は正しいか。★ ○ ○ ○ ○	1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
被疑者に対する	○ ○ ○ ○ 2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。	2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
被疑事件 について、下記のとおり捜索及び差押えすることを許可する。		
差し押さえるべき物	3 記載は必須(引用された別紙はあるか)。 (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)	3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
捜索すべき場所、 身体又は物	4 記載は必須(引用された別紙はあるか)。 (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意) (強制採尿の捜索差押許可状は別様式で作成することには注意)	4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
有 効 期 間	平成○○年○○月○○日 まで 5 期間計算は正しいか。★	5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
有効期間経過後は、この令状により捜索又は差押えに着手することができない。この 場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。 有効期間内であっても、捜索又は差押えの必要がなくなったときは、直ちにこれを 当裁判所に返還しなければならない。		
6 今日の日付は正しいか。 平成○○年○○月○○日	7 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 (庁名) 名古屋○○裁判所	6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
裁 判 官	8 裁判官の記名印は正しいか 11 裁判官の押印はあるか。	8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
請求者の官公職氏名	9 請求書からの転記は正しいか。★	9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

12 夜間執行の請求はあるか。 12 ☐ ☐
13 裁判官の押印はあるか。 13 ☐ ☐

※点検者が押印又は署名をする。 ☐ ☐
(点検者印)

15 複数請求があり、コピーした場合＝項目3, 4, 11につき、全件チェック済

※交付時10, 11, 13, 14を警察官と指差し点検

※このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

④当直用チェック票(捜索許可状請求書)

(リモートアクセスによる複写の処分以外の請求に用いること)

★の項目は別紙参照

1 受付日付は正しいか。

2 庁別は選択したか。★

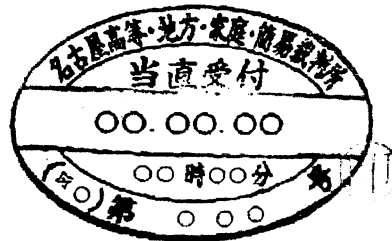
原本、謄本に

・3 時刻は記入したか。

・4 事件番号、事件符号は記入したか。★

・5 担当者は押印したか。

・6 原本、謄本は照合したか。★



受付時

1 ☐ ☐
2 ☐ ☐

3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

捜 索 許 可 状 請 求 書

7 請求日付は正しいか

平成 年 月 日

7 ☐ ☐

8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

8 ☐ ☐

裁判所

裁判官 殿

受取印(捺印) 警察署
司法警察員



下記被疑者に対する 被疑事件につき、捜索許可状の発付を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。★
記

9 ☐ ☐

1 被疑者の氏名

10 身柄関係書類等があればどれか一つと確認する。★

10 ☐ ☐
11 ☐ ☐

11 年齢計算に誤りはないか。★

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

2 差し押さえるべき物

12 ☐ ☐

3 捜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

12 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

13 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

13 ☐ ☐

5 刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

14 斜線を引き押印又は「なし」と記載する。請求書に本項自体の記載がないこともある(そのときは、6項、7項が順次5項、6項に繰り上がる。)

14 ☐ ☐

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

15 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

15 ☐ ☐

7 犯罪事実の要旨

16 記載は必須(引用された別紙はあるか。)*

(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

16 ☐ ☐

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

(捜索許可状請求書)

☐ ☐
(点検者印)

※点検者が押印又は署名をする。

④当直用チェック票(捜索許可状)
(リモートアクセスによる複写の処分以外の請求に用いること)

★の項目は別紙参照

決
裁
前
決
裁
後

13 引用された別紙各葉との裁判官契印、訂正印はある 13 ☐

捜 索 許 可 状

被 疑 者 の 氏 名	1 表記文字は正しいか。★ ○ ○ ○ ○	1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
被疑者に対する ○ ○ ○ ○ 2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要) 被疑事件		2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
について、下記のとおり捜索することを許可する。		
捜 索 す べ き 場 所 , 身 体 又 は 物	3 記載は必須(引用された別紙はあるか。★ (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)	3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
有 効 期 間	平成○○年○○月○○日 まで 4 期間計算は正しいか。★	4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
有効期間経過後は、この令状により捜索に着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。 有効期間内であっても、捜索の必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。		
5 今日の日付は正しいか。 平成○○年○○月○○日 6 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 (庁名) 名古屋○○裁判所	9 庁印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。	5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
裁 判 官 ○ ○ ○ ○ (印)		7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
請 求 者 の 官 公 職 氏 名	8 請求書からの転記は正しいか。★	8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

11 令状は夜間でも執行することになっている

11 夜間執行の請求はあるか。

11 ☐ ☐

12 裁判官の押印はあるか。

12 ☐ ☐

※点検者が押印又は署名をする。

☐ ☐

(点検者印)

※交付時9 10 12 13を警察官と指差し点検

☐

(点検者印)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

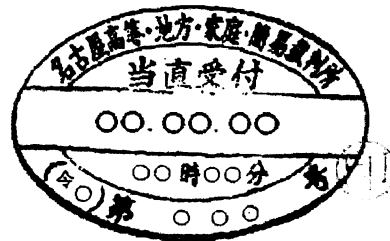
⑤当直用チェック票(差押許可状請求書)

(リモートアクセスによる複写の処分以外の請求に用いること)

★の項目は別紙参照

受 決
付 裁
時 前

- 1 受付日付は正しいか。
- 2 庁別は選択したか。★



1 ☐ ☐
2 ☐ ☐

原本、謄本に

- ・3 時刻は記入したか。
- ・4 事件番号 事件符号は記入したか。★
- ・5 担当者は押印したか。
- ・6 原本、謄本は照合したか。★

3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

差 押 許 可 状 請 求 書

7 請求日付は正しいか。

平成 年 月 日

7 ☐ ☐

8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

8 ☐ ☐

裁判所

裁判官 殿

受取印



下記被疑者に対する 被疑事件につき、押許可状の発付を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要) ★
記

9 ☐ ☐

1 被疑者の氏名

10 身柄関係書類等があればどれか一つと
確認する。★

10 ☐ ☐
11 ☐ ☐

11 年齢計算に誤りはないか。★

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

2 差し押さえるべき物

12 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

12 ☐ ☐

3 捜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

13 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

13 ☐ ☐

5 刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であつて、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

14 斜線を引き押印又は「なし」と記載する。請求書に本項自体の記載がないこともある(そのときは、6項、7項が順次5項、6項に繰り上がる。)

14 ☐ ☐

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

15 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

15 ☐ ☐

7 犯罪事実の要旨

16 記載は必須(引用された別紙はあるか。)★

(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

16 ☐ ☐

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

(差押許可状請求書)

(点検者印)

※点検者が押印又は署名をする。

⑤当直用チェック票(差押許可状)

(リモートアクセスによる複写の処分以外の請求に用いること)

★の項目は別紙参照

決 決
裁 裁
前 後

13 引用された別紙各葉との裁判官契印、訂正印はある 13

□

差 押 許 可 状

被 疑 者 の 氏 名	1 表記文字は正しいか。★ ○ ○ ○ ○
被疑者に対する ○ ○ ○ ○ 2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。 被疑事件 について、下記の物を差押えすることを許可する。	
差し押さえるべき物	3 記載は必須(引用された別紙はあるか)。 (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)
有 効 期 間	平成○○年○○月○○日 まで 4 期間計算は正しいか。★
有効期間経過後は、この令状により差押えに着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。 有効期間内であっても、差押えの必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 5 今日の日付は正しいか。 平成○○年○○月○○日 6 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 (庁名) 名古屋○○裁判所 裁 判 官 ○ ○ ○ ○ </div> <div> 9 庁印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 7 裁判官の記名印は正しいか。 10 裁判官の押印はあるか。 </div> </div>	
請求者の官公職氏名	8 請求書からの転記は正しいか。★ <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> 名古屋○○警察署 司法警察官 </div> <div> 11 夜間執行の請求はあるか。 12 裁判官の押印はあるか。 ※点検者が押印又は署名をする。 </div> </div>

1 □ □

2 □ □

3 □ □

4 □ □

5 □ □

9 □ □

6 □ □

7 □ □

10 □

8 □ □

11 □ □

12 □

□ □
(点検者印)

□
(点検者印)

※交付時9、10、12、13を警察官と指差し点検

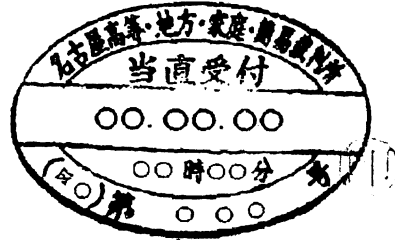
※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

⑥当直用チェック票(検証許可状請求書)
(リモートアクセスによる複写の処分以外の請求に用いること)

★の項目は別紙参照

受付時 1 ☐ ☐
2 ☐ ☐
決裁前 3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

- 1 受付日付は正しいか。
2 庁別は選択したか。★



- 原本、謄本に
・3 時刻は記入したか。
・4 事件番号、事件符号は記入したか。★
・5 担当者は押印したか。
・6 原本、謄本は照合したか。★

検 証 許 可 状 請 求 書

7 請求日付は正しいか。
平成 年 月 日

8 ゴム印の押し忘れ「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★
第五星 裁判所
裁判官 殿

受取印 警察署
司法警察部



下記被疑者に対する〇〇〇〇被疑事件につき、検証許可状の発付を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。★
記

1 被疑者の氏名

10 身柄関係書類等があればどれか一つと
確認する。★

11 年齢計算に誤りはないか。★

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

2 差し押さえるべき物

3 搜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

12 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

13 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

5 刑事訴訟法第218条第2項の規定による差し押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

14 斜線を引き押印又は「なし」と記載する。請求書に本項自体の記載がないこともある(そのときは、6項、7項が順次5項、6項に繰り上がる。)

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

15 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

7 犯罪事実の要旨

16 記載は必須(引用された別紙はあるか。)*
(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

(検証許可状請求書)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

(点検者印)

※点検者が押印又は署名をする。

⑥当直用チェック票(検証許可状請求書)
(リモートアクセスによる複写の処分以外の請求に用いること)

★の項目は別紙参照

決
裁
前
決
裁
後

13 引用された別紙各葉との裁判官契印、訂正印はある 13 ☐

検 証 許 可 状

1 表記文字は正しいか。★

1 ☐ ☐

被 疑 者 の 氏 名

○ ○ ○ ○

被疑者に対する

○ ○ ○ ○

2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。

2 ☐ ☐

について、下記のとおり検証することを許可する。

被疑事件

検証すべき場所又は物

3 記載は必須(引用された別紙はあるか)。★
(引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)

3 ☐ ☐

有 効 期 間

平成○○年○○月○○日 まで 4 期間計算は正しいか ★

4 ☐ ☐

有効期間経過後は、この令状により検証に着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。
有効期間内であっても、検証の必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。

5 今日の日付は正しいか。

平成○○年○○月○○日

6 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。

9 庁印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。

5 ☐ ☐

9 ☐ ☐

6 ☐ ☐

(庁名) 名古屋○○裁判所

裁 判 官

○ ○ ○ ○ 印

7 裁判官の記名印は正しいか。

10 裁判官の押印はあるか。

7 ☐ ☐

10 ☐

請求者の官公職氏名

愛知県警察署

8 請求書からの転記は正しいか。★

刑事警察部

8 ☐ ☐

この令状は夜間でも執行することができる。

印

11 夜間執行の請求はあるか。

12 裁判官の押印はあるか。

11 ☐ ☐

12 ☐

※点検者が押印又は署名をする。

☐ ☐
(点検者印)

※交付時9、10、12、13を警察官と指差し点検

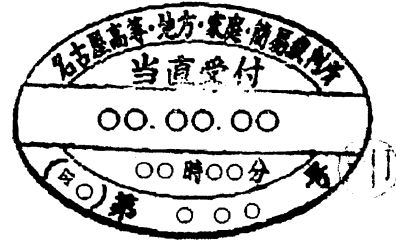
☐
(点検者印)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留める。

- 1 受付日付は正しいか。
2 庁別は選択したか。★

原本、謄本に

- ・3 時刻は記入したか。
・4 事件番号 事件符号は記入したか。★
・5 担当者は押印したか。
・6 原本、謄本は照合したか。★



1 ☐ ☐
2 ☐ ☐

3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

身体検査令状請求書

7 請求日付は正しいか。
平成 年 月 日

7 ☐ ☐

- 8 ゴム印の押し忘れ「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

8 ☐ ☐

裁判所

裁判官 殿

東京都警庁
刑事部



下記被疑者に対する 被疑事件につき、
下記の者に対する身体検査令状の発付を請求する。

- 9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。
記

9 ☐ ☐

- 1 被疑者の氏名 ○ ○ ○ ○ 10 身柄関係書類等があればどれか一つと確認する。★

10 ☐ ☐

- 2 身体検査を受ける者

氏名

年齢

昭和 年 月 日生 (歳) 性別 男

- 11 身柄関係書類等があれば確認する。年齢計算に誤りはないか。

11 ☐ ☐

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

職業

健康状態

健康

- 3 身体検査を必要とする理由

- 12 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

12 ☐ ☐

- 4 検査すべき身体の部位

- 13 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

13 ☐ ☐

- 5 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

- 14 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

14 ☐ ☐

(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

- 6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

- 15 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

15 ☐ ☐

(別紙引用の場合は、別紙はあるか。)

- 7 犯罪事実の要旨

- 16 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

16 ☐ ☐

(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

(身体検査令状請求書)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

※ 点検者が押印又は署名をする。

(点検者印)

12 引用された別紙各票との裁判官契印、訂正印はある 12 ☐

身体検査令状

1 表記文字は正しいか。★

1 ☐ ☐

被 疑 者 の 氏 名

○ ○ ○ ○

被疑者に対する

○ ○ ○ ○

2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)

2 ☐ ☐

被疑事件

について、下記の者の身体を検査することを許可する。

検 査 す べ き 身 体

3 記載は必須★

3 ☐ ☐

身 体 の 検 査
に 関 す る 条 件

4 なし。又は裁判官の指示する条件★

4 ☐ ☐

身体を検査を受ける者が正当な理由がなく身体を検査を拒んだときは、10万円以下の過料又は10万円以下の罰金もしくは拘留に処せられ、あるいは罰金と拘留を併科されることがある。

有 効 期 間

平成○○年○○月○○日 まで 5 期間計算は正しいか。★

5 ☐ ☐

有効期間経過後は、この令状により身体を検査をすることができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。

有効期間内であっても、身体を検査の必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。

6 ☐ ☐

10 ☐ ☐

7 ☐ ☐

6 今日の日付は正しいか。

平成○○年○○月○○日

7 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。

(庁名) 名古屋○○裁判所

10 庁印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。

裁 判 官

○ ○ ○ ○ 印

8 ☐ ☐

11 ☐ ☐

8 裁判官の記名印は正しいか。

11 裁判官の押印はあるか。

請求者の官公職氏名

警察官 〇〇〇〇

9 請求書からの転記は正しいか。★

9 ☐ ☐

〇〇〇〇

※点検者が押印又は署名をする。

(点検者印)

夜間執行の許可は不要であるとするのが実務であるが、裁判官に確認する。

※交付時10、11、12を警察官と指差し点検

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

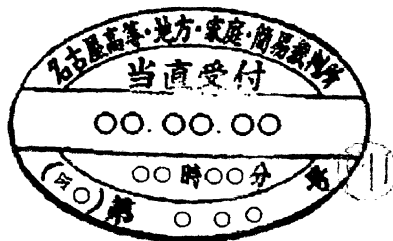
(点検者印)

⑧当直用チェック票(鑑定処分許可請求書)

★の項目は別紙参照

受付時 1 ☐ 2 ☐
 決裁前 1 ☐ 2 ☐
 3 ☐ 4 ☐ 5 ☐ 6 ☐

- 1 受付日付は正しいか。
 2 庁別は選択したか。★



- 原本、謄本に
 ・3 時刻は記入したか。
 ・4 事件番号、事件符号は記入したか。★
 ・5 担当者は押印したか。
 ・6 原本、謄本は照合したか。★

鑑 定 処 分 許 可 請 求 書

7 請求日付は正しいか。
 平成 年 月 日

8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

裁判所

裁判官 殿

愛知県警察本部
 司法警察部



下記被疑者に対する 被疑事件につき、鑑定を囑託された次の者が、
 鑑定に必要な下記処分をすることの許可を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。★
 記

鑑定人の職業及び氏名 (例として警察の科学捜査研究所とします。)

愛知県警察本部刑事部科学捜査研究所

警察職員 () 歳

10 (一件記録冒頭の捜査報告書及び鑑定囑託書謄本で確認したか。)★

鑑定を囑託した年月日

平成 年 月 日 11 (通常は令状請求の日です。)

鑑定囑託事項

12 記載は必須(引用された別紙はあるか。)★

犯罪事実の要旨

13 記載は必須(引用された別紙はあるか。)★

記

1 被疑者の氏名

14 身柄関係書類等があればどれか一つと
 確認する。★

15 年齢計算に誤りはないか。★

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

2 鑑定人が立ち入るべき住居、邸宅、建造物若しくは船舶、検査すべき身体、
 解剖すべき死体、発掘すべき墳墓又は破壊すべき物

16 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

3 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

17 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

(鑑定処分許可状請求書)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

※点検者が押印又は署名をする。

(点検者印)

鑑 定 処 分 許 可 状

被 疑 者 の 氏 名		1 表記文字は正しいか。★ ○ ○ ○ ○	1 □ □
被疑者に対する		○ ○ ○ ○ 2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。	2 □ □
被疑事件 について、次の鑑定人が下記の処分をすることを許可する。			
鑑 定 人	職 業 氏 名	3 記載は必須 (愛知県警察本部刑事部科学捜査研究所 警察職員 ○○○○)、 (○○大学医学部法医学教室 医師 ○○○○) など正確に記載すること。年齢は不要	3 □ □
立ち入るべき場所、 検査すべき身体、 解剖すべき死体、 発掘すべき墳墓又は 破壊すべき物		4 記載は必須(引用された別紙はあるか)。 (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)	4 □ □
身体 の 検 査 に 関 する 条 件		5 裁判官の指示により記載する。★ (記載事項がなければ「なし」と記載するか斜線を引く。)	5 □ □
有 効 期 間		平成○○年○○月○○日 まで 6 期間計算は正しいか。★	6 □ □
有効期限経過後は、この令状により許可された処分に着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。			
7 今日の日付は正しいか。 平成○○年○○月○○日		11 庁印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。	7 □ □ 11 □ □ 8 □ □
8 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 (庁名) 名古屋 裁判所		9 裁判官の記名印は正しいか。	9 □ □
裁 判 官 ○ ○ ○ ○ 印		12 裁判官の押印はあるか。	12 □ □
請求者の官公職氏名		10 請求書からの転記は正しいか。★	10 □ □

※点検者が押印又は署名をする。

□ □
(点検者印)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

※交付時10、11、12を警察官と指差し点検

□ □
(点検者印)

⑨当直用チェック票(記録命令付差押許可状請求書)

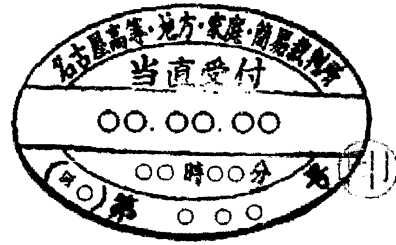
★の項目は別紙参照

受付時	決裁前
1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 1 受付日付は正しいか。
- 2 庁別は選択したか。★

原本、謄本に

- 3 時刻は記入したか。
- 4 事件番号、事件符号は記入したか。★
- 5 担当者は押印したか。
- 6 原本、謄本は照合したか。★



記録命令付差押許可状請求書

7 請求日付は正しいか。
平成○○年○○月○○日

- 8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

裁判所

裁判官 殿

愛知県○○警察署
司法警察員



下記被疑者に対する○○○○被疑事件につき、記録命令付差押許可状の発付を請求する。

- 9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。★

記

- 1 被疑者の氏名

被疑者(○歳)

- 10 身柄関係書類等があればどれか一つと確認する。★

- 11 年齢計算に誤りはないか。★

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

- 2 記録させ又は印刷させるべき電磁的記録

- 12 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

- 3 電磁的記録を記録させ又は印刷させるべき者

- 13 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

- 4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

- 14 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか)

- 5 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

- 15 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか)

- 6 犯罪事実の要旨

- 16 記載は必須(引用された別紙はあるか。)*
(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

(記録命令付差押許可状請求書)

※点検者が押印又は署名をする。

☐ ☐
(点検者印)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

15 引用された別紙各条との裁判官契印、訂正印はある 15

☐

記録命令付差押許可状

被 疑 者 の 氏 名	1 表記文字は正しいか。★ ○ ○ ○ ○	1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
被疑者に対する	○ ○ ○ ○ 2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)	2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
被疑事件 について、下記のとおり記録命令付差押えをすることを許可する。		
記録させ又は印刷させるべき電磁的記録	3 記載は必須(引用された別紙はあるか。) (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)	3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
電磁的記録を記録させ又は印刷させるべき者	4 記載は必須(引用された別紙はあるか。) (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)	4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
有 効 期 間	平成○○年○○月○○日 まで 5 期間計算は正しいか。★	5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
有効期間経過後は、この令状により記録命令付差押えに着手することができない。 この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。 有効期間内であっても、記録命令付差押えの必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。		
6 今日の日付は正しいか。 平成○○年○○月○○日 7 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 (庁名) 名古屋○○裁判所	10 庁印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。	6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
裁 判 官	8 裁判官の記名印は正しいか。 11 裁判官の押印はあるか。	8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
請求者の官公職氏名	9 請求書からの転記は正しいか。★	9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

12 夜間執行の請求はあるか。 12 ☐ ☐
 13 裁判官の押印はあるか。 13 ☐ ☐
 14 「記録命令」のみに夜間執行を許可した場合、「この令状のうち記録命令については、夜間でも執行することができる。」と記載しているか、裁判官の押印はあるか。 14 ☐ ☐

※点検者が押印又は署名をする。

☐ ☐
 (点検者印)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。 ※交付時10、11、13、15を警察官と指差し点検

☐
 (点検者印)

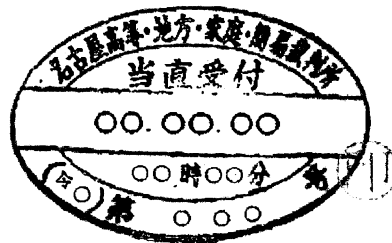
⑩当直用チェック票(搜索差押許可状請求書)(リモートアクセスによる複写の処分)

★の項目は別紙参照

- 1 受付日付は正しいか。
- 2 庁別は選択したか。★

原本、謄本に

- ・3 時刻は記入したか。
- ・4 事件番号、事件符号は記入したか。★
- ・5 担当者は押印したか。
- ・6 原本、謄本は照合したか。★



受付時	決裁前
1 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

搜索差押許可状請求書

7 請求日付は正しいか。
平成 年 月 日

- 8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

裁判所
裁判官 殿

警視庁 捜査課

司法警察員



下記被疑者に対する○○○○被疑事件につき、搜索差押許可状の発付を請求する。

- 9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。★
記

- 1 被疑者の氏名

平成 年 月 日

- 10 身柄関係書類等があればどれか一つと確認する。★
- 11 年齢計算に誤りはないか。★

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

- 2 差し押さえるべき物

- 12 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

- 3 搜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

- 13 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

- 4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

- 14 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

- 5 刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

- 15 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

- 6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

- 16 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

- 7 犯罪事実の要旨

- 17 記載は必須(引用された別紙はあるか。)*
(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

9 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

(搜索差押許可状請求書)

☐ ☐
(点検者印)

※点検者が押印又は署名をする。

⑩当直用チェック票(搜索差押許可状) (リモートアクセスによる複写の処分)

★の項目は別紙参照

決
裁
前
決
裁
後

15 引用された別紙各案との裁判官契印、訂正印はある 15

搜索差押許可状

被疑者の氏名	1 表記文字は正しいか。★ ○ ○ ○ ○	1 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
被疑者に対する 2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。 被疑事件 について、下記のとおり搜索及び差押えをすることを許可する。		2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
差し押さえるべき物	3 記載は必須(引用された別紙はあるか。) (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)	3 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
搜索すべき場所、 身体又は物	4 記載は必須(引用された別紙はあるか。) (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)	4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
差し押さえるべき電子計算 機に電気通信回線で接続し ている記録媒体であって、 その電磁的記録を複写すべ きものの範囲	5 記載は必須(引用された別紙はあるか。)。★ (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意) また、搜索及び電子計算機の差押えのみを許可した場合、斜線が引かれ ているか。	5 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
有効期間	平成○○年○○月○○日 まで 6 期間計算は正しいか。★	6 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
有効期間経過後は、この令状により搜索又は差押えに着手することができない。この 場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。 有効期間内であっても、搜索又は差押えの必要がなくなったときは、直ちにこれを当 裁判所に返還しなければならない。		
7 今日の日付は正しいか。 平成○○年○○月○○日 8 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 (庁名) 名古屋○○裁判所	11 庁印の「地方」「簡易」の押し間違い はないか。	7 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
裁判官	9 裁判官の記名印は正しいか。 12 裁判官の押印はあるか。	9 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
請求者の官公職氏名	10 請求書からの転記は正しいか。★	10 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

この令状は夜間でも執行することができる

13 夜間執行の請求はあるか。

14 裁判官の押印はあるか。

※点検者が押印又は署名をする。

(点検者印)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする ※ 交付時 11 12 14 15 を警察官と指差し点検

(点検者印)

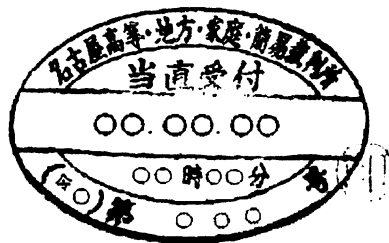
⑪当直用チェック票(差押許可状請求書)(リモートアクセスによる複写の処分)

★の項目は別紙参照

- 1 受付日付は正しいか。
- 2 庁別は選択したか。★

原本、謄本に

- ・3 時刻は記入したか。
- ・4 事件番号、事件符号は記入したか。★
- ・5 担当者は押印したか。
- ・6 原本、謄本は照合したか。★



受付 決
時 裁
前
1 ☐ ☐
2 ☐ ☐
3 ☐ ☐
4 ☐ ☐
5 ☐ ☐
6 ☐ ☐

捜 索

許 可 状 請 求 書

差 押

7 請求日付は正しいか。
平成 年 月 日

7 ☐ ☐
8 ☐ ☐

8 ゴム印の押し忘れ、「地方」「簡易」の押し間違いはないか。★

裁判所
裁判官 殿

検印局 警察署
司法警察員



下記被疑者に対する 被疑事件につき、差押許可状の発付を請求する。

9 罪名は犯罪事実と相違はないか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。★
記

9 ☐ ☐

1 被疑者の氏名

10 身柄関係書類等があればどれか一つと確認する。★
11 年齢計算に誤りはないか。★

10 ☐ ☐
11 ☐ ☐

(氏名がわからない場合は「不詳」と記載される。年齢の記載は慣例)

2 差し押さえるべき物

12 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

12 ☐ ☐

3 捜索し又は検証すべき場所、身体若しくは物

13 記載する事項がないので斜線を引き押印又は「なし」と記載する。

13 ☐ ☐

4 7日を超える有効期間を必要とするときは、その期間及び事由

14 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

14 ☐ ☐

5 刑事訴訟法第218条第2項の規定による差押えをする必要があるときは、差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲

15 記載は必須(引用された別紙はあるか。)

15 ☐ ☐

6 日出前又は日没後に行う必要があるときは、その旨及び事由

16 記載する事項がないときは、斜線を引き押印又は「なし」と記載する。
(記載の必要があるときは、別紙引用も少なくない。引用された別紙はあるか。)

16 ☐ ☐

7 犯罪事実の要旨

17 記載は必須(引用された別紙はあるか。)*
(引用別紙で更に別紙を引用している場合も少なくない。)

17 ☐ ☐

(差押許可状請求書)

☐ ☐
(点検者印)

※点検者が押印又は署名をする。

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

⑪当直用チェック票(差押許可状)(リモートアクセスによる複写の処分)

★の項目は別紙参照

決
裁
前
決
裁
後

14 引用された別紙各案との裁判官契印 訂正印はある 14

□

差 押 許 可 状

被 疑 者 の 氏 名	1 表記文字は正しいか。★ ○ ○ ○ ○	1 □ □
被疑者に対する	○ ○ ○ ○ 2 罪名は正しいか(特別刑法犯の場合は罰条の記載が必要)。	2 □ □
被疑事件 について、下記のとおり差押えをすることを許可する。		3 □ □
差し押さえるべき物	3 記載は必須(引用された別紙はあるか)。 (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意)	3 □ □
差し押さえるべき電子計算機に電気通信回線で接続している記録媒体であって、その電磁的記録を複写すべきものの範囲	4 記載は必須(引用された別紙はあるか)。★ (引用した別紙の付け忘れ、取り違えに注意) また、電子計算機の差押えのみを許可した場合、斜線が引かれているか。	4 □ □
有 効 期 間	平成○○年○○月○○日 まで 5 期間計算は正しいか。★	5 □ □
有効期限経過後は、この令状により差押えに着手することができない。この場合には、これを当裁判所に返還しなければならない。 有効期間内であっても、差押えの必要がなくなったときは、直ちにこれを当裁判所に返還しなければならない。		6 □ □
6 今日の日付は正しいか。 平成○○年○○月○○日	7 庁名印の「地方」「簡易」の押し間違いはないか。 (庁名) 名古屋○○裁判所	10 □ □
8 裁判官の記名印は正しいか。	11 裁判官の押印はあるか。	7 □ □
請求者の官公職氏名	9 請求書からの転記は正しいか。★	8 □ □
12 夜間執行の請求はあるか。		11 □
13 裁判官の押印はあるか。		9 □ □

この令状は夜間でも執行することができる。



12 夜間執行の請求はあるか。
13 裁判官の押印はあるか。

12 □ □
13 □

※点検者が押印又は署名をする。

□ □
(点検者印)

※交付時10 11 13 14を警察官と指差し点検

□
(点検者印)

※ このチェックシートは令状請求書謄本とホチキス留めする。

(別紙)

①通常逮捕状

★点検項目		点検項目の説明
請求書	(請求書の点検)	・通常は、逮捕状に請求書原本を引用して合てつするので、請求書の確実な点検は必須である。
	(請求書原本の訂正)	・請求書の記載内容に不備や誤りがある場合は、逮捕状に請求書原本を引用するに当たり、請求者に訂正させ、訂正印を押させて発付する。
	2 受付印	・当直裁判官の所属により、「地方裁判所」又は「簡易裁判所」。
	4 事件符号	・事件符号は、当直裁判官の所属により、地裁であれば「令む」、簡裁であれば「令る」。
	6 謄本	・請求書謄本に謄本認証はあるか(刑訴規則により謄本提出)。
	8 庁名	2を参照
	9 請求者	<ul style="list-style-type: none"> ・「刑事訴訟法第199条第2項による指定を受けた司法警察員」、「警部」又は「警視」の記載があるか。 ・検察官又は司法警察員(法199Ⅱ)、特別司法警察職員(法190)である。 ・警察官である司法警察員については、国家公安委員会又は都道府県公安委員会が指定する警部以上の者に限られている。 ・特別司法警察職員については、司法警察員として職務を行う者であれば制限はない。 ※逮捕状請求権者名簿は、当直室備え付け刑事ファイルに編てつ
	10 罪名	<ul style="list-style-type: none"> ・被疑罪名と被疑事実の要旨との同一性を確認する。 ・特別法犯の場合は、罪名を特定するために、罰条(構成要件規定の条文及び罰則規定の条文)の記載が必要である(名古屋の取扱い)。例・・・「覚せい剤取締法(同法 条)」 【「決裁前」点検者は以下も点検する】 特別法犯の場合は、六法全書等によって、被疑事実についての関連条文(犯罪構成要件、法定刑等)を確認する。
	11 12 被疑者	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名が不詳の場合は写真を利用することが多い(記載例・・・「不詳(別添(又は別紙)写真の男)」)。 ・住居が不定の場合は「不定」。住居が明らかでない場合は「不詳」。 ・年齢、職業が明らかでない場合は「不詳」。 ・外国人の生年月日は西暦で記載されているか。 【「決裁前」点検者は以下も点検する】 捜査記録中の運転免許証、外国人登録証等の身分関係書類のどれか一つと照合して点検し、照合した書類を付せんで裁判官に報告するとともに、誤記等があれば付せんで貼付して裁判官に口頭で報告する。
	19 軽微事件	【「決裁前」点検者は以下も点検する】軽微事件に該当するかを確認する。
	20 被疑事実の要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・「被疑事実の要旨」の記載内容に誤字脱字がないか。 ・別紙を引用しているときは別紙があるか。別紙の表題が正しいか(「別紙 被疑事実の要旨」)。 【「決裁前」点検者は以下も点検する】 捜査記録冒頭の統括捜査報告書と照合して点検し、誤記等があれば付せんで貼付して裁判官に口頭で報告する。
令状	1 被疑者の氏名	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名が不詳で写真を利用した場合の記載例・・・「不詳(逮捕状請求書別添(又は別紙)写真の男)」 ・外国人の氏名の表記は、カタカナ、アルファベット、両方併記の場合があり、基本的には請求書の表記に従って処理してよい。
	2 有効期間	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として発付日から7日(初日は不算入。末日が祝休日でも算入) 例・・・8月1日(日)発付の場合は、原則として有効期間は8月8日(日)まで ・宿直では、請求から日をまたいで発付することがあるので注意(例;請求日7月31日、発付日8月1日)
	8 契印 訂正印	<ul style="list-style-type: none"> ・契印 ①請求書原本に請求者の契印がない場合は、逮捕状から請求書最終頁までの裁判官の契印が必要 ②請求書原本に請求者の契印がある場合は、逮捕状と請求書冒頭頁との契印で足りるか、①と同様の契印が必要かは、裁判官の判断による。 ・訂正印 ― 請求書原本の訂正印は、請求者印で訂正してもらう。